

我がまちを守る！ 消防団の現状と課題

消防団員確保アドバイザー 赤羽消防団副団長 小澤浩子

1・災害列島・日本に暮らす私たち

- 1) 活火山数は世界の7・0%
- 2) マグニチュード6・0以上の地震数は20・7% (1996~2005)
- 3) 災害死者数は10・3% (1975~2004)
- 4) 災害被害額は13・4% (1975~2004)
- 5) 今後30年間に発生が予想される大地震の確率
 - ① 宮城県沖地震・・・99% M7・5
 - ② 三陸沖北部地震・90% M8・1
 - ③ 茨城県沖地震・・・90% M6・8
 - ④ 東海地震・・・・87% M8
 - ⑤ 首都直下地震・・・70% M7・2
 - ⑥ 東南海地震・・・・60% M8・1
 - ⑦ 南海地震・・・・50% M8・4
- 6) 異常気象による自然災害の多発

2・消防団とは

- * 特別職の非常勤地方公務員
- * それぞれ生業を持ちながら
「自らのまちは自らで守る」という郷土愛護の精神で活動
- * 全国ほとんど全ての市町村に設置
- * 団員の任命権は市町村長が持つ 定数は市町村条例による
- * 出動手当て・年報酬・退職報奨金有り
(東京都の場合
災害出動・・・1回3000円
出動回数が多い場合は予算内での配分となる
報酬・・・・団員で年額4万500円)
- * 消防団の組織は団本部を頂点とし、団員の階級は団長以下7階級
- * 常備消防と自主防災組織の連携役であり、地域防災の中核的存在

3・地域の防災体制

- 1) 常備消防・・・・・・約15万7千人（常備化率 97・8%）
- 2) 消防団・・・・・・約89万人
- 3) 自主防災組織・・・・約3100万人
- 4) 女性防火クラブ・・・・約200万人

4・消防団のルーツ

- 1) 江戸時代の「まち火消し」の伝統 ～長い「男の世界」～
- 2) 自治体消防の誕生
 - * 昭和22年4月・・警防団の廃止
 - * 庄和23年3月・・消防組織法の施行
- 3) 女性消防団員のルーツ・明治末、離島などで組織（山形県酒田市飛島）

5・消防団の特性

- 1) 地域密着性
- 2) 要員動員力
- 3) 災害への即時対応力

6・消防団の現況（平成21年10月1日 日本消防協会）

- 1) 消防団数・・・・・・2312団（平成の大合併により大幅に減少）
- 2) 総団員数・・・・・・88万8662人
- 3) 女性団員採用の団・1180団
- 4) 全国女性団員数・・1万8514人
- 5) 消防庁の目標・・・・全国団員数100万人 内女性団員10万人

7・消防団への期待の拡大

- 1) 多様化・複雑化する災害への対応
- 2) 大規模災害への対応
- 3) 異常気象により多発する自然災害への対応
- 4) 火災防御 ～永遠の課題「火の用心」～
- 5) 有事における国民保護への対応

- 6) 予防活動の充実 ～防げる災害は発生させない
発生しても被害を最小限に～
- 7) 住民への防災教育

8・消防団が抱える課題

- 1) 団員数の減少
- 2) サラリーマン団員の増加・・・団員の約7割
- 3) 団員の高齢化
- 4) 地域住民の理解不足・協力の低下

9・団員確保のためのさまざまな方策

- 1) 幅広い人材の活用
 - ① 女性団員の採用
 - ② 学生団員の確保
 - ③ 団員OBの活用
 - ④ 公務員や特殊法人等公務員に準ずる職員等の入団促進
- 2) 機能別分団・機能別団員の設置
- 3) 消防団協力事業所表示制度の実施等、事業所との協力体制の推進
- 4) 消防団応援団の設置
- 5) 消防団員確保アドバイザーの派遣
- 6) さまざまな機会を捉えての入団促進キャンペーンの実施

10・消防団の活動 ～まちの数だけ活動がある～

- 1) 災害時
 - * 消火活動・残火処理
 - * 救出・救助活動
 - * 応急救護活動
 - * 水防活動
 - * 搜索活動
 - * 情報の収集・伝達
 - * 災害現場の安全確保
 - * 避難誘導など
- 2) 災害復旧時

- * 災害後の住民へのさまざまな支援活動など
- 3) 平常時
- * 各種訓練や研修会への参加
 - * 応急救護法の普及・指導
 - * 住民や子どもたちへの防火防災指導・啓発活動
 - * さまざまな予防啓発活動
 - * 住宅用火災警報器の設置促進
 - * 地域の祭りなど各種行事における警戒活動
 - * 高齢者宅への防火訪問
 - * 災害弱者の情報収集
 - * 地域の防災マップ作り
 - * 火災予防パトロールなど

1 1 ・これからの消防団

- 1) 実践に即した新しい訓練や活動の確立
- 2) 家族や地域住民の理解・協力の獲得
- 3) 消防団員であることの誇りと信頼
- 4) まちのさまざまな人や組織をつなぐ核としての活動
- 5) まちと共に生き、まちと共に育つ存在

1 2 ・赤羽消防団の概況

- * 東京都北区3団の内のひとつ（23区内には58消防団設置）
- * 団員定数200人（内女性団員40人）・・・定員充足
- * 内山昇団長以下、団本部と7個分団に分かれて活動
- * 可搬ポンプ18台保有 ポンプ積載車3台配置
- * 東京の北の玄関・赤羽地区を管轄
- * 管内には6万3829世帯 人口12万5211人（4月1日）
- * 埼玉県川口市とに荒川をはさんで接している
- * 北区の高齢化率は23区1位
- * 赤羽地区でも大型団地住民の高齢化が深刻 一人暮らし世帯も多い
- * 管内に木造家屋密集地を抱える
- * 火災の発生件数は近年少ないが放火の被害有り

